様式第一号（第７条関係）

拉致被害者等給付金支給申請書

内閣総理大臣　殿

私は、日本国に永住することを決めましたので、下記のとおり北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律による拉致被害者等給付金を申請します。

平成　　年　　月　　日

申請者代表
氏　　名　　印
（自署又は記名押印願います。）

フリガナ		性別	
氏　　名			
生年月日	年　　月　　日		
住　　所	〒　　－ 電話番号		
添付書類	住民票（同居世帯員が記載されているもの） 市町村民税課税証明書（必要に応じて所得の内訳が分かる書類）		

上記申請者と同一世帯に属する者で支給の決定を受けようとする者（注１）

フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				

その他上記申請者と同一世帯に属する者で、上記支給の決定を受けようとする者が扶養する者（注２）				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				
フリガナ		申請者との続柄	性別	生年月日
氏　　名				

備考　用紙は、日本工業規格Ａ４とする。

（注１）「上記申請者と同一世帯に属する者で支給の決定を受けようとする者」には、帰国した被害者とその配偶者、子、孫を記載して下さい。

（注２）「その他上記申請者と同一世帯に属する者で、上記支給の決定を受けようとする者が扶養する者」には、拉致被害者等給付金の扶養加算の対象範囲となる支給の決定を受けようとする者によって扶養されている、帰国後に婚姻した被害者の配偶者、帰国後に生まれた被害者の子、帰国後に生まれた被害者の孫、被害者の子の配偶者、被害者の両親、帰国した被害者の配偶者の両親を記載して下さい。